### 提案書評価基準

### 1 基本的な評価事項

受託候補者の決定にあたっては、当院にとって最適な事業者を選定するため、公募型 プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を受託候補者とします。

### 2 評価点

提案書及びプレゼンテーション内容を評価し、評価点を与えます。 評価委員一人あたりの評価点の満点は160点とします。

3 評価の最も高い者が2者以上あるときの対応 評価項目のうち「業務実施体制」の評価点合計が高いものを受託候補者とします。 これも同点の場合は、評価委員の投票で多数決により当該同点者の順位を決定します。 票数が同数の場合は、委員長の判断により決定します。

- 4 ヒアリングを欠席したプロポーザル参加者の取扱い 失格とし、評価を行いません。
- 5 ヒアリングを欠席した評価委員の評価点の取扱い ヒアリングを欠席した評価委員の評価点は無効とします。

### 6 評価方法

(1) 評価表の各項目に配分する得点は次のとおりです。

評価項目	配点
1 業務運営体制	50
2 業務実績	10
3 業務実施体制	75
4 ワークライフバランス	5
5 ヒアリング	20

#### (2) 採点方法

各評価項目について A、B、C、D の4段階評価で行います。 評価点はA=5点、B=3点、C=1点、D=0点とし、重要度を乗じた点数とします。

### (3) その他

すべての評価項目を絶対評価により採点します。

評価委員の持ち点の合計(評価委員人数×160点)に対して60%を基準点とし、 基準点に達しない場合は不適格とします。

# 評 価 表

## (1) 業務運営体制

	評価項目 評価の着目点			評価					
	可順次口	可順の自己派	А	В	С	D	重要度	配点	
1	運営方針	仕様書に示された基本方針や業務内容に合致 した提案内容であるか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10	
2	物品供給体制(検査機器、試薬等)	病院機能を十分に考慮した機器選定及び、安 定した試薬等の供給体制が具体的に示されて いるか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10	
3	対応の柔軟性	医療環境の変化に対し、柔軟性を持った対応が出来るか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×1	5	
4	人員配置(受託責任者)	十分な実務経験があるか	優れている	Aに該当しな い	-	記載がない	×1	5	
5	人員配置(受託責任者を除く)	検査室運営における人員配置が具体的である か	優れている	Aに該当しな い	-	記載がない	×1	5	
6	社員の教育・研修体制	企業としての社員教育・研修体制はあるか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×1	5	
7	危機管理体制	危機管理体制(インシデント・アクシデント 発生時の対応)があるか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10	

小計 /50

## (2)業務実績

		評価項目 評価の着目点		評価				
	<b>叶</b> 圆块口	計画♡ク目ロボ	Α	В	С	D	重要度	配点
	におけるブランチラボ方式	同規模の高度急性期又は急性期を主たる機能 とする病院におけるブランチラボ方式検査室 の構築経験と運営の安定性を評価	実績がある	-	実績がない	_	×1	5
2	ブランチラボ方式による直 近2年間の新規稼動実績	直近のブランチラボ方式検査室の稼動数により、会社としての構築体制を評価	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×1	5

小計 /10

## (3) 業務実施体制

	評価項目	評価の着目点	評価					記占
	<b>叶</b> 侧块口	計Ⅲ♡∕自口無	А	В	С	D	重要度	記述
1	対応の迅速性	検査業務委託における営業体制や対応の迅速 性について具体的であるか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
2	日当直時の検査対応	日当直体制時の緊急検査項目の対応について 具体的であるか	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
3	業務遂行体制	検査業務遂行が困難になった際の考え方	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
4	検査情報提供体制	検査情報提供に対する内容や仕組み	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
5	病院運営支援体制	病院運営を支援する取組みや体制があるか (例:感染防止対策等)	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
6	精度管理体制	平成30年度における外部評価の結果を下記により評価 ①臨床検査精度管理調査評価表(日本医師会) ②施設別総合評価報告書(日本臨床衛生検査技師 会)	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	受診していない	×2	10

7	資格・認定	当院の検体を受け入れる自社ラボにおいて、 精度等を担保する資格・認定(ISO15189、 CAP、CLIA、ISO27001、プライバシーマーク、医療関連サービスマーク(衛生検査所業 務)の取得があるか		A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
8	検査室稼動スケジュール	<ul><li>・稼動までのスケジュールが明確になっているか</li><li>・業務引継が発生する際は、十分な準備体制があるか</li></ul>	優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×1	5

小計 /75

## (4) ワークライフバランス

		評価の視点			評価			配点
	计画块口		Α	В	С	D	重要度	山山流
1	ワークライフバランス	ワークライフバランスに関する取組みを評価	・次世代育成支 策定している。 ・女性の職業生 一般事業主行動 合のみ) ・次世代育成支 プラチナくるみ ・女性の職業生 認定(えるぼし	以上満たした場で接対策推進法に (従業員101人 (従業員101人 )活における活躍 計画を策定して を接対策推進法に かんマーク)を取 き活における活躍 かんでおける活躍 い、を取得してい	基づく一般事業 未満の場合のみ の推進に関する いる(従業員3 よる認定(くる な得している で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ら が法律に基づく 01人未満の場 の の の の の の の の の の の の の	× 1	5

小計 /5

### (5) ヒアリング

			I		評価			
	評価項目	評価の視点	А	В	С	D	重要度	配点
1	取組意欲・実現性		優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10
2	理解度・専門技術力		優れている	A、Cに 該当しない	妥当でない	記載がない	×2	10

小計 /20

合計 /160